

かながわコミュニティカレッジ講座 修了生インタビュー

「デート DV 電話相談員養成講座」

講座実施団体：認定 NPO 法人エンパワメントかながわ

「デート DV」って何だろう。耳慣れない言葉です。ドメスティック・バイオレンス（DV）は、配偶者や恋人など親密な関係にある人（又はあった人）から振るわれる暴力のことをいいますが、特に婚姻関係のない恋人間で起こる暴力を「デート DV」と呼んでいます。10代のカップルの3組に1組に起きているといわれ、そこには身体的な暴力だけでなく、相手への罵倒や金銭の要求なども含まれます。若い世代にとって身近な問題であるデート DV が起きる背景や構造を理解して、適切な相談対応のスキルを学ぶ講座が開かれています。受講後に相談員になった“いーさん”（2016年度講座修了・横浜市在住）に話を伺いました。



（取材を受けていただいた“いーさん”）

■講座との出会い

受講のきっかけは、フェイスブックの片隅に書いてあった「受講生募集」という文字が目にとまったことです。デート DV を知らなかったので、「いったい何を学ぶの?」と思いました。「デート」という言葉から連想して可愛いらしいイメージを持ったくらいです。とにかく参加してみようと応募し、2016年の秋に2ヶ月に渡り受講しました。

◆講座の内容について

最初は基礎知識から入りました。デート DV は男女間だけではなく、LGBT 間でも起こりうることや、頻繁なメールによる束縛など、本人が「嫌だ、怖い!」と思うことは目に見えない暴力に含まれると学びました。

また、お金を搾取されるなど、経済的な暴力は電話相談だけでは限界があります。そんなときは警察の生活安全課や女性センター、弁護士費用を心配しなくてよい法テラスなどの専門機関を相談者に紹介します。さらに、相談者に精神疾患などが

関与してないかを考えます。そこからのケアが必要となるからです。最初は「難しい」「専門知識が必要ではないか」と堅いイメージをもって臨んだ講座でしたが、回数を重ねるごとに身近に起こりえることなのだとして理解していきました。

講座の後半では、電話相談対応の実践を経験します。ロールプレイ（役割演技）方式で、被害者の気持ちを知ることになります。また、相談者が被害者本人でなく、その被害に気づいた家族や友だち、学校の先生なども想定し、そのときの対応の仕方も学びました。実際にロールプレイで母親になりきったときには、子を思う母親の気持ちが少しわかったような気がしました。



(平成30年度開催講座の案内チラシ)

■講座で特に印象深かったこと

「傾聴とエンパワメント」という内容が特に印象深かったですね。相手の話を「聞く」と「聴く」は全然違うのです。「聞く」は、門構えの中に耳と書きます。自分が構えた門の中に入ってきた情報だけを聞くということ。一方、「聴く」は相手の話を大きな耳で、十四の心を持ってひたすら聴くのだと学びました。

相談員の役割は、相手の話をひたすら「聴く」ということです。これが基本だと思います。否定も批判もアドバイスもしません。電話をかけてきた人の気持ちに寄り添い、その気持ちを尊重すること。殴られた人には、殴られたときの気持ちを語ってもらい、寄り添うのです。

■受講後の活動は

この養成講座の後、実際に相談員活動に参加するために50時間の研修があります。会社勤めをしながら研修に通うのは大変でしたが、予備知識も無く、まっさらな気持ちで取り組んだことが、かえって良かったのかもしれません。

現在は週に1回ほど相談員として活動に参加しています。多い日には1日7件の相談を受けることもあります。相談員をしていて嬉しかったのは、最初は感情をまったく表わさない相談者の方が、何回目かの電話で自分の思いを吐露してく

れたときでした。私の声に安心感を覚えてくれたのかなと感じ、相談者と繋がった気がしました。

私は普段 IT 企業に勤務していますが、この講座を受けて職場での自分が変わったと思えることがあります。以前は、上司や後輩など周りをあまり気にしていなかったのが、今では悩んでいそうな同僚がいたら声をかけるようになりました。気持ちを聴いて「何かあったら愚痴を言っていていいよ。大丈夫だよ」と伝えています。

として活動するのではなくても、身近な人が DV を受けているように思われたら、

「あなたは大切な人だ、あなたが暴力を受けていいはずがない」というメッセージを送り続けてほしいです。そして「デート DV110 番」の電話番号を書いた紙片を渡してほしいと思います。

平成 30 年 10 月 10 日取材

町田香子（市民記者）



◆講座を受けたいと思う方に向けて

デート DV の相談員になって良かったと思っています。知らない世界を知ることができましたし、人の輪が広がりました。人の気持ちを聴くのは大変ですが、自分にできることをする、無理はしないと決めています。相談員をすることで、私自身が力をもらっていると感じます。

偶然に講座とめぐり合った私が相談員になれたのですから、続けることでどなたにもできることだと思います。相談員